

令和7年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野			開講時期	2 年前期	
授業科目名	地域・在宅看護論			単位数	1単位	
	在宅療養を支える技術Ⅰ			時間数	15時間	
講師名	瀬戸 広子	所属	訪問看護ステーション わかば	資格・免許	看護師免許	
		職名	看護師			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
地域で生活する人々と、その家族の日常生活援助について理解し展開する						
教育目標との関連						
(1) 命の尊さや思いやりを基調に、人々と協和し、良い人間関係を築くことができる。						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
地域で療養生活を送る人と家族をアセスメントする						
暮らしの場で行われる日常生活援助技術と工夫を理解する						
回	授業内容				方法	
1	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程				講義	
2	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程				講義	
3	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程				講義	
4	家族支援				講義	
5	生活を支える技術と医療ケア（食事・栄養の援助）				演習	
6	生活を支える技術と医療ケア（排泄の援助）				演習	
7	生活を支える技術と医療ケア（清潔の援助）				演習	
8 (45分)	生活を支える技術と医療ケア（移乗・移動の援助）				演習	
受講上の注意				評価方法 筆記試験 100点		
使用するテキスト						
地域・在宅看護論、地域・在宅看護論まとめノート （メヂカルフレンド社）						
参考文献						
写真でわかる訪問看護アドバンス （インターメディカ）						

* 地域医療での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する